

白河市複合施設整備

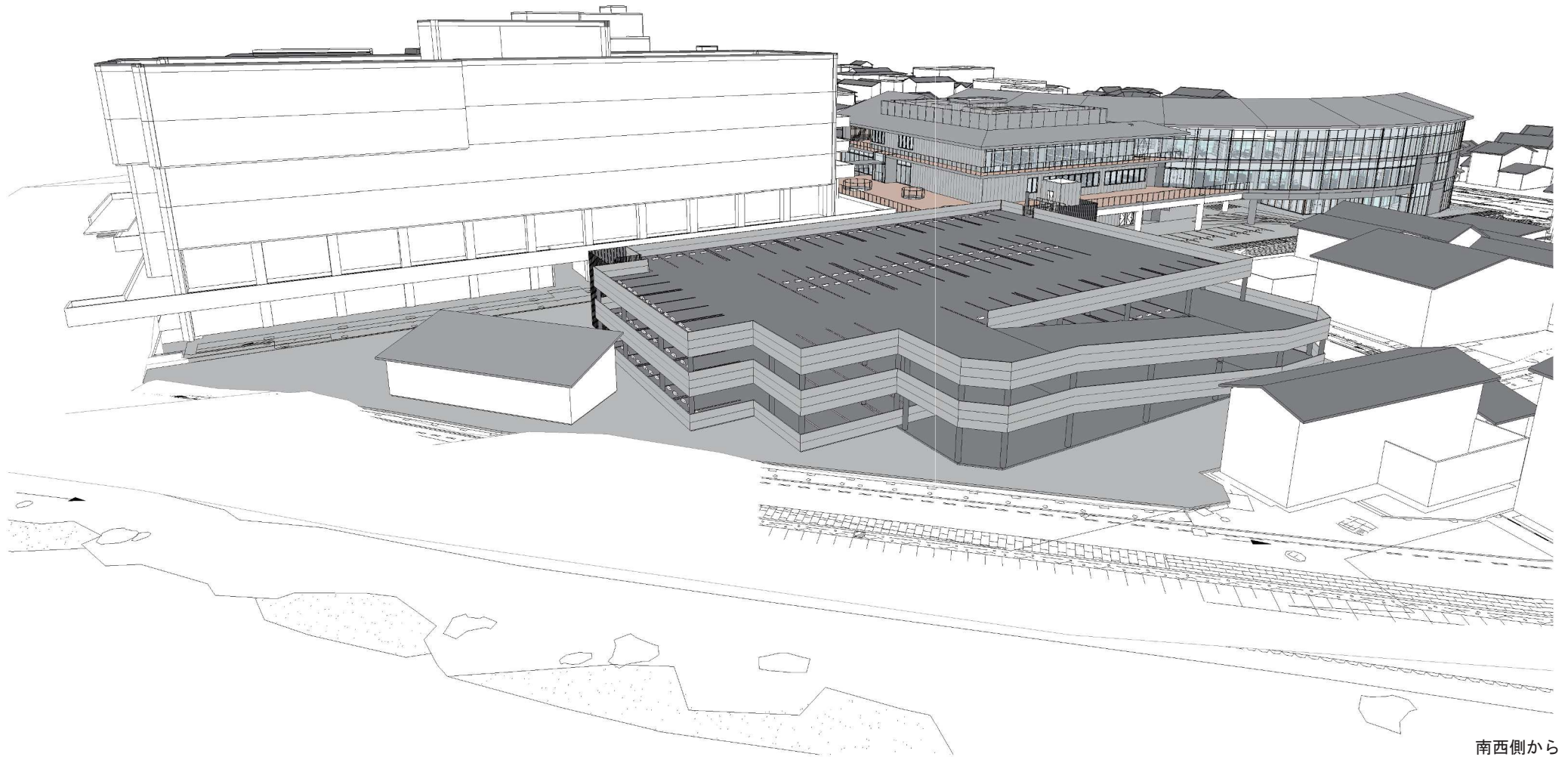
基本設計書

2022.07

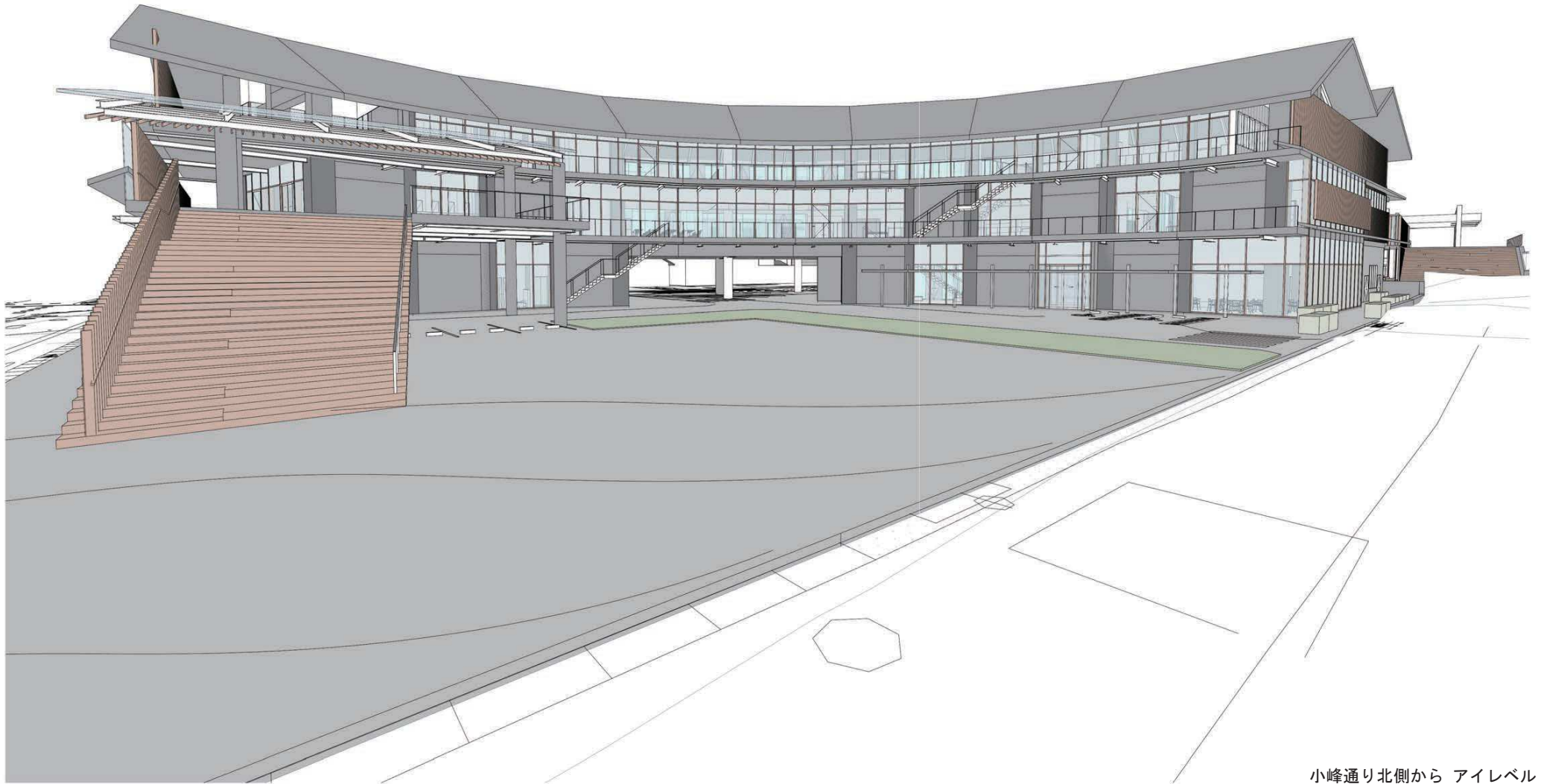
概要版 (案)



北東側から



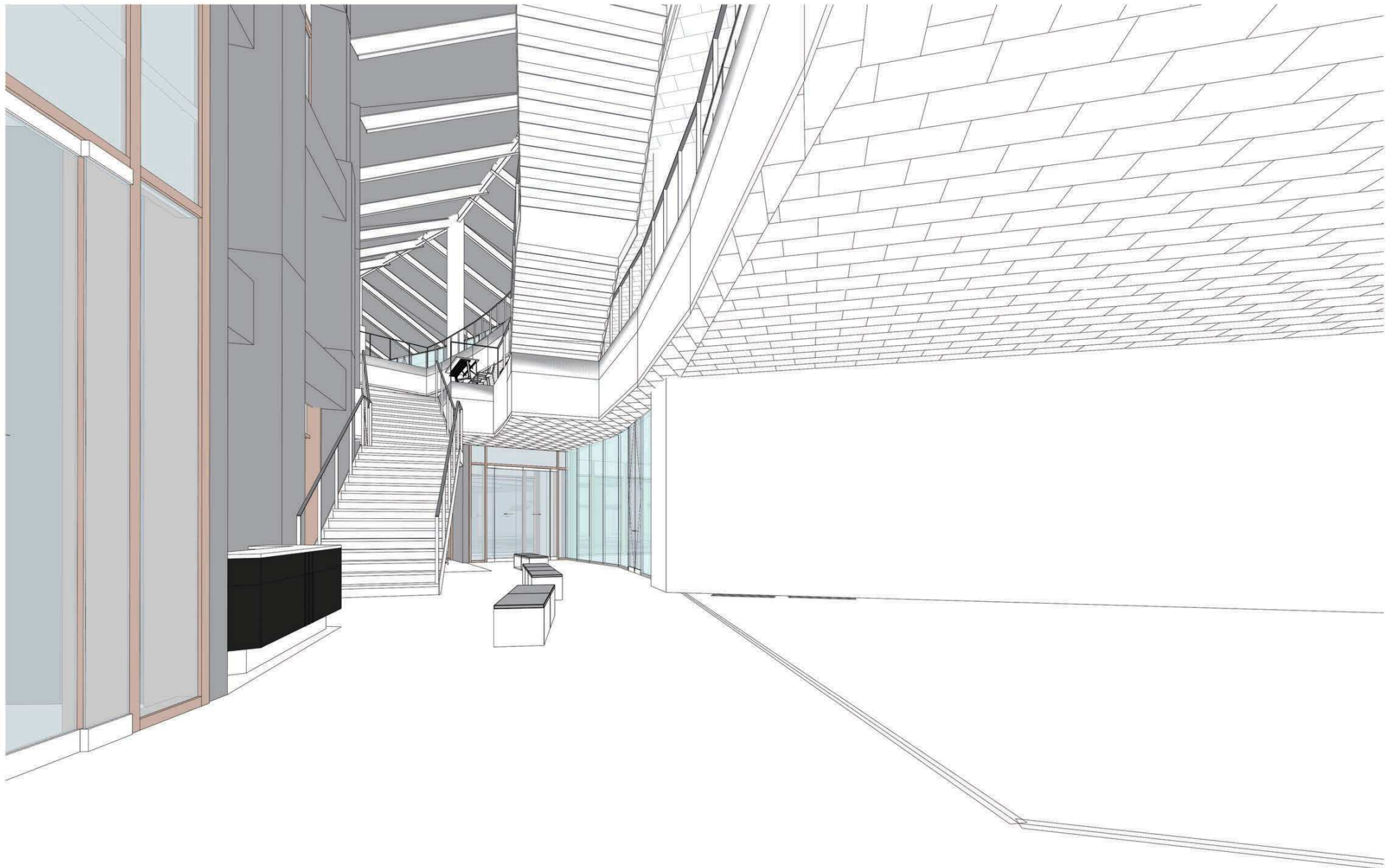
南西側から



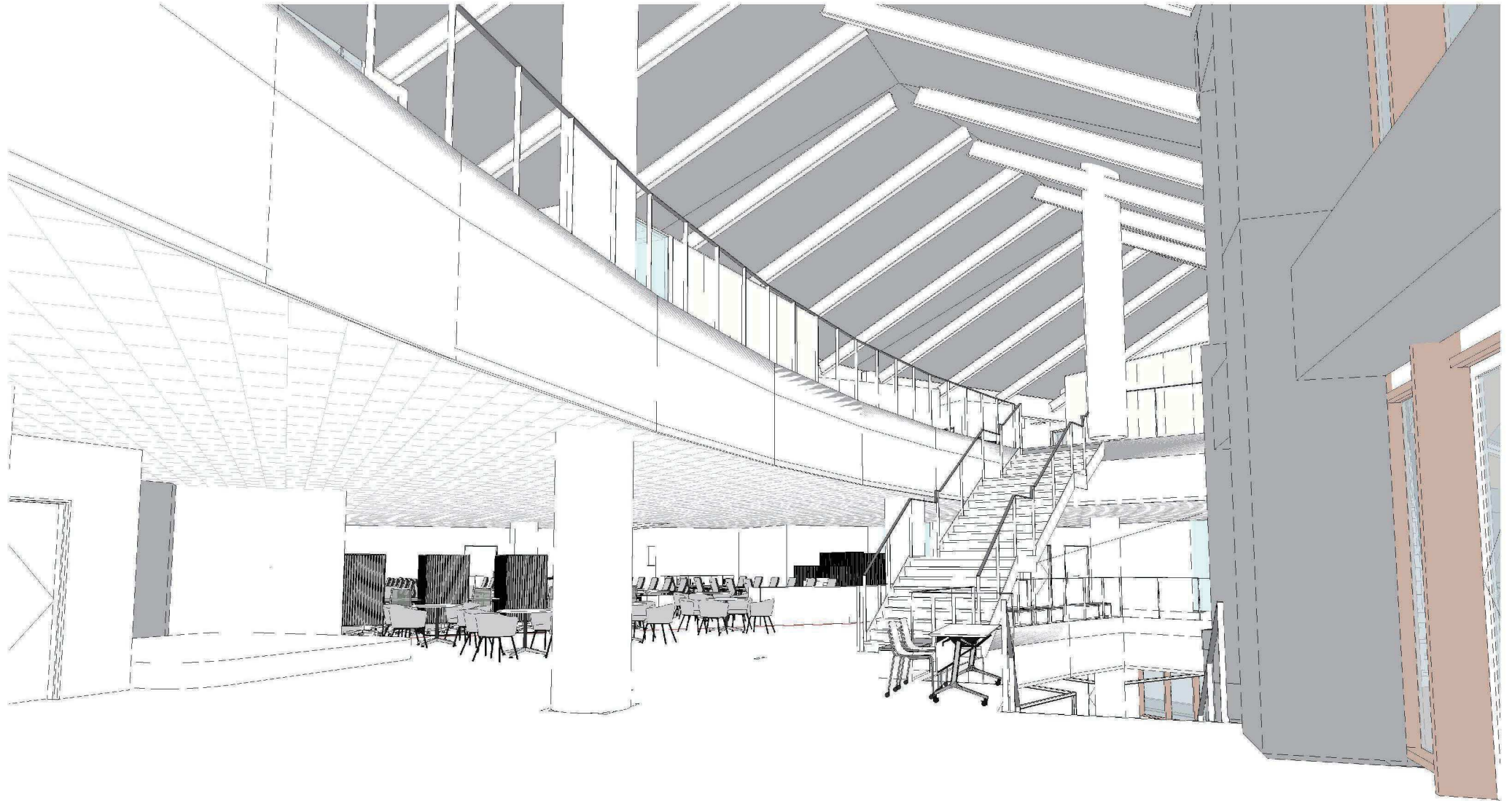
小峰通り北側から アイレベル



南側から アイレベル



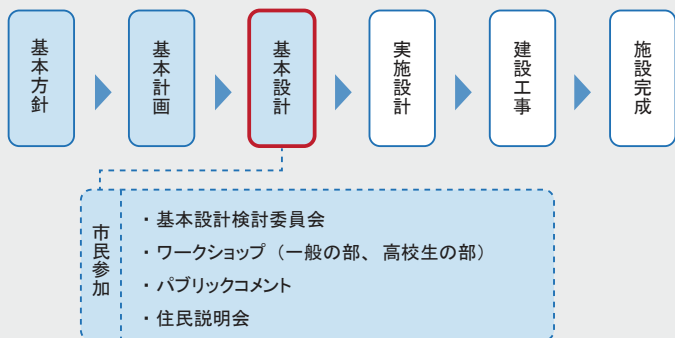
1階 市民交流ホール



計画コンセプト

■これまでの経過と今後の予定

令和元年8月 市民会館跡地利活用基本方針 策定
 令和3年3月 複合施設整備基本計画 策定
 令和3年5月 複合施設整備基本設計 着手
 令和4年7月 複合施設整備基本設計 策定



■基本計画における整備コンセプトと整備方針

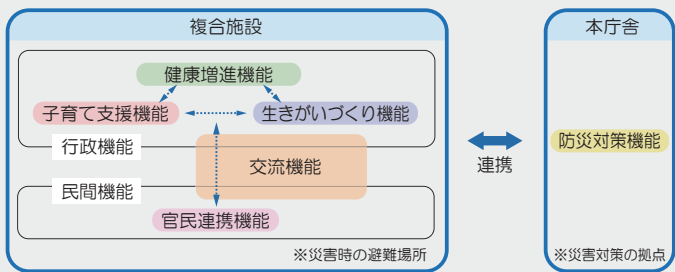
【整備コンセプト】

みんなの笑顔がつながる ほっとスペース

～みらいの暮らしをつくり、豊かに住み続けられる「まち」の拠点～

【整備方針】

- 健康増進機能、子育て支援機能、生きがいつくり機能、民間機能、交流機能を導入します。
- 市内の周辺公共施設と用途が重複しない機能を配置し、老朽化した公共施設の維持管理費を抑えられるよう複合施設へ機能を集約します。
- 市民・職員が利用しやすい動線で、市役所本庁舎と一体的に連携できる機能配置とします。また、行政機能と民間機能との連携やイベント開催などの非日常の利用実態にも配慮した配置とします。

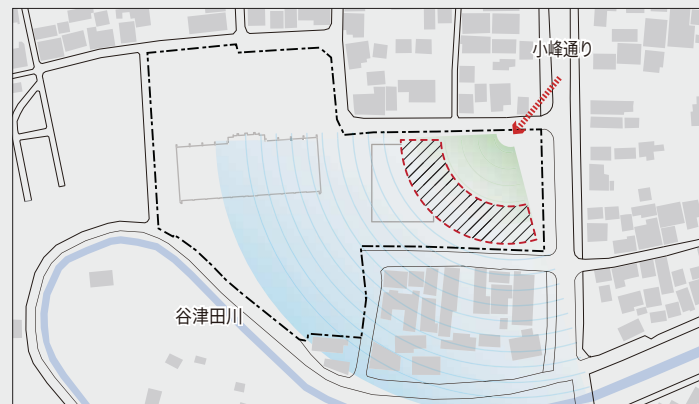


■建物の設計思想

1. 谷津田川のカーブをモチーフに、小峰通りからの人通りを包み込むような形態デザイン

敷地は市役所本庁舎の東側に位置し、敷地東側に小峰城が眺望できる小峰通りと、南側に流れる谷津田川に挟まれた場所にあります。

この施設が『みらいの暮らしをつくり、豊かに住み続けられる「まち」の拠点』となるために、建物の形に谷津田川の形を取り入れ、市民に親しみを持ってもらえるような施設を目指します。また、小峰通りに対して求心性のある形とし、小峰通りを歩き交う人々が足を運びたいくなるような建物になることを目指します。



2. 城下町の景観に調和しながらも、魅力あふれる新しい外観デザイン

約400年前に奥州街道沿いに整備された城下町地区は、現在も白河市の中心市街地としてその歴史が受け継がれています。奥州街道沿いやその裏通りには、町境ごとにカギ型状の街路が残り、沿道には伝統的な店構えの商家や蔵が多く、全体が城下町らしい歴史的空間を醸し出しています。この施設もその歴史的空間を踏襲しながら、一方で今までの白河にはなかった新しい外観デザインを計画します。



3. 柔らかさと暖かみのある、市民の心の拠り所となるような内観デザイン

建物内部には木質系の材料等を使用し、温もりと開放感がある空間とし、市民の居場所としてにぎわいが溢れるようなデザインとします。

また、市民の居場所が北側広場に面することで、北側からの均一な光が建物内部を常に明るく照らしてくれます。





■ 建物配置計画

- ・ 建物の主要部分をやや西側に配置することで、市役所本庁舎 - 複合施設 間の連携性を高めます。
- ・ 施設内の主要機能を『行政サービスエリア』と『市民活動エリア』に二分し、利用者にとってわかりやすく、使いやすい配置計画とします。

■ 市民動線計画

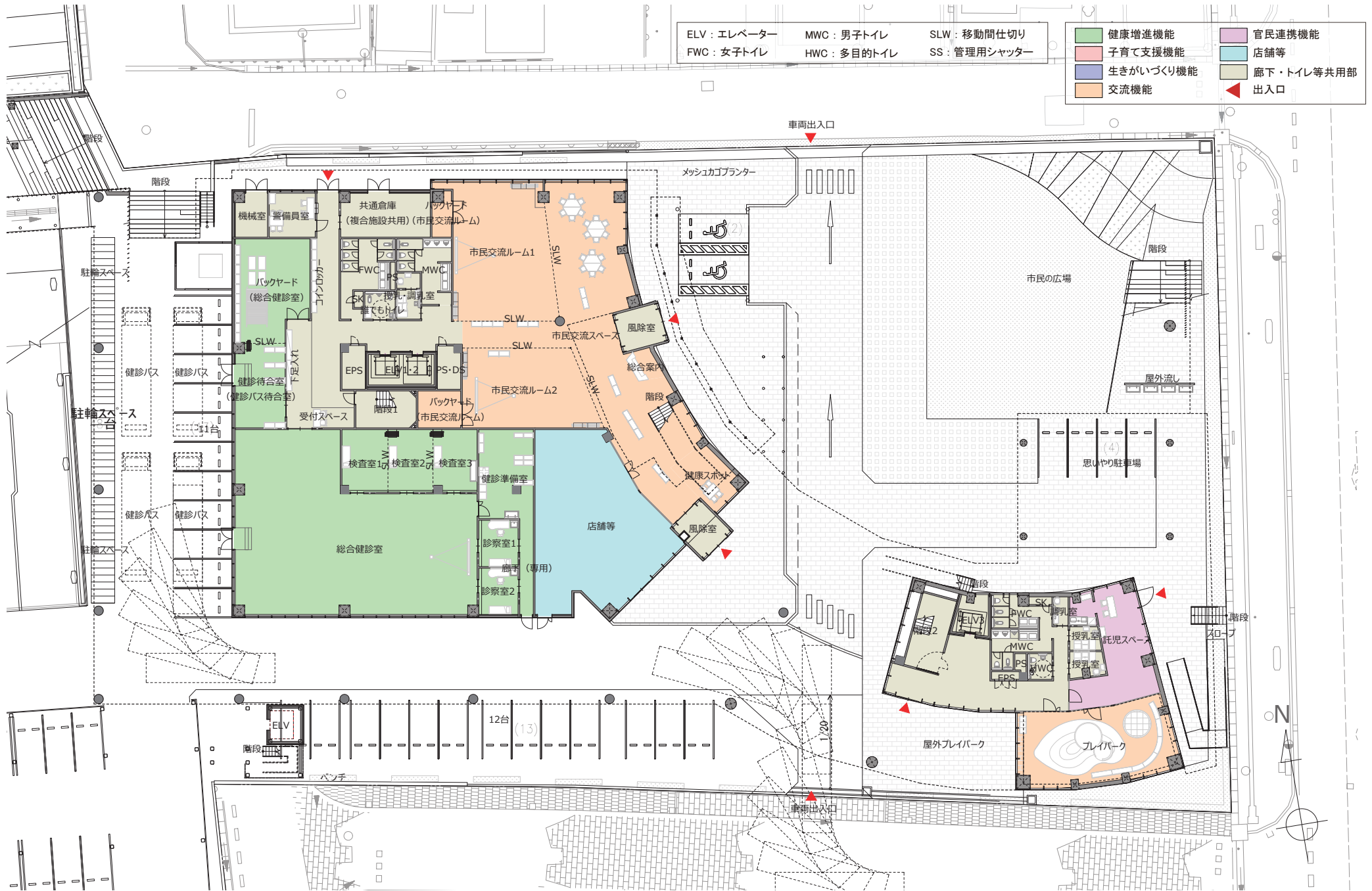
- ・ 東側に面して広場を設けることで小峰通りからのアクセスが容易になり、また広場の賑わいが小峰通りにもあふれるような計画とします。
- ・ 複合施設2階レベル（本庁舎1階レベル）に屋外の連絡デッキを設け、市役所本庁舎 - 複合施設 - 立体駐車場 間のアクセスを容易にします。

■ 車両動線計画

- ・ 歩道と車道を明確に分け、歩行者と車両動線の交錯が最小限になるような計画とします。
- ・ 思いやり駐車場や車椅子駐車場、荷下ろしスペースには庇を設け、雨や雪が掛からないように配慮します。

平面計画

1階平面図 (S=1:300)



ELV: エレベーター
FWC: 女子トイレ
MWC: 男子トイレ
HWC: 多目的トイレ
SLW: 移動間仕切り
SS: 管理用シャッター

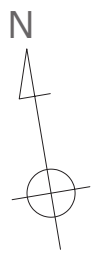
健康増進機能
子育て支援機能
生きがいづくり機能
交流機能
官民連携機能
店舗等
廊下・トイレ等共用部
出入口

平面計画

2階平面図 (S=1:300)

ELV : エレベーター
 FWC : 女子トイレ
 MWC : 男子トイレ
 HWC : 多目的トイレ
 SLW : 移動間仕切り
 SS : 管理用シャッター

健康増進機能
 子育て支援機能
 生きがいづくり機能
 交流機能
 官民連携機能
 店舗等
 廊下・トイレ等共用部
 出入口

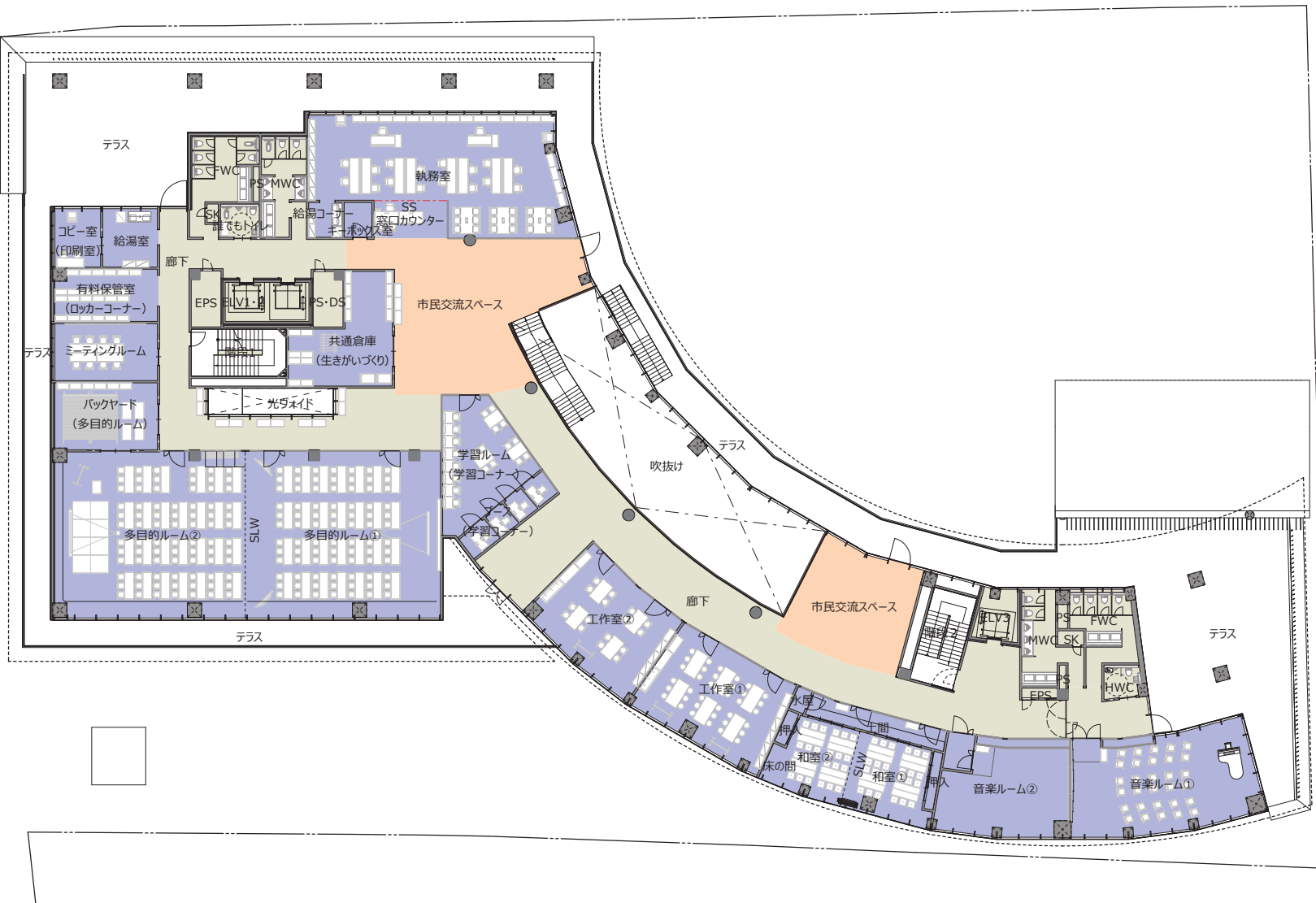


平面計画

3階平面図 (S=1:300)

ELV : エレベーター MWC : 男子トイレ SLW : 移動間仕切り
 FWC : 女子トイレ HWC : 多目的トイレ SS : 管理用シャッター

健康増進機能 官民連携機能
 子育て支援機能 店舗等
 生きがいづくり機能 廊下・トイレ等共用部
 交流機能 出入口

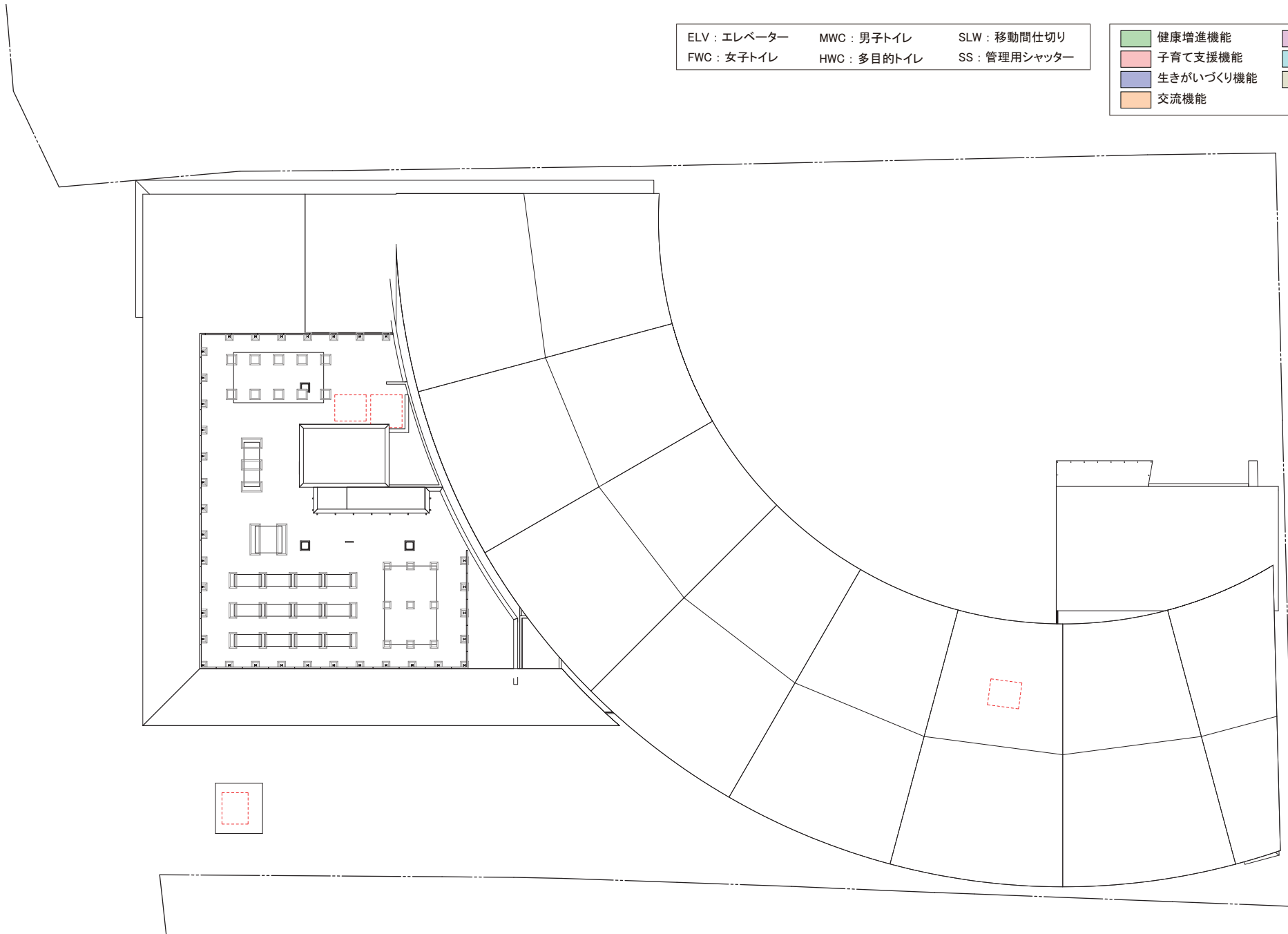


平面計画

R 階平面図 (S=1:300)

ELV : エレベーター MWC : 男子トイレ SLW : 移動間仕切り
FWC : 女子トイレ HWC : 多目的トイレ SS : 管理用シャッター

健康増進機能 官民連携機能
子育て支援機能 店舗等
生きがいきづくり機能 廊下・トイレ等共用部
交流機能 出入口



立面計画

立面図 (S=1:400)

■北面：

- ・円弧状の部分は、小峰通りや市民の広場から施設内の活動が見えるよう、透明性の高い立面計画とします。これによって北側の均一な光が入り込み、一年を通して明るい市民交流ホールとなります。
- ・住宅に面した部分は窓面積を最小限に抑え、ルーバー等でデザインしながらもプライバシーを確保します。

■南面：

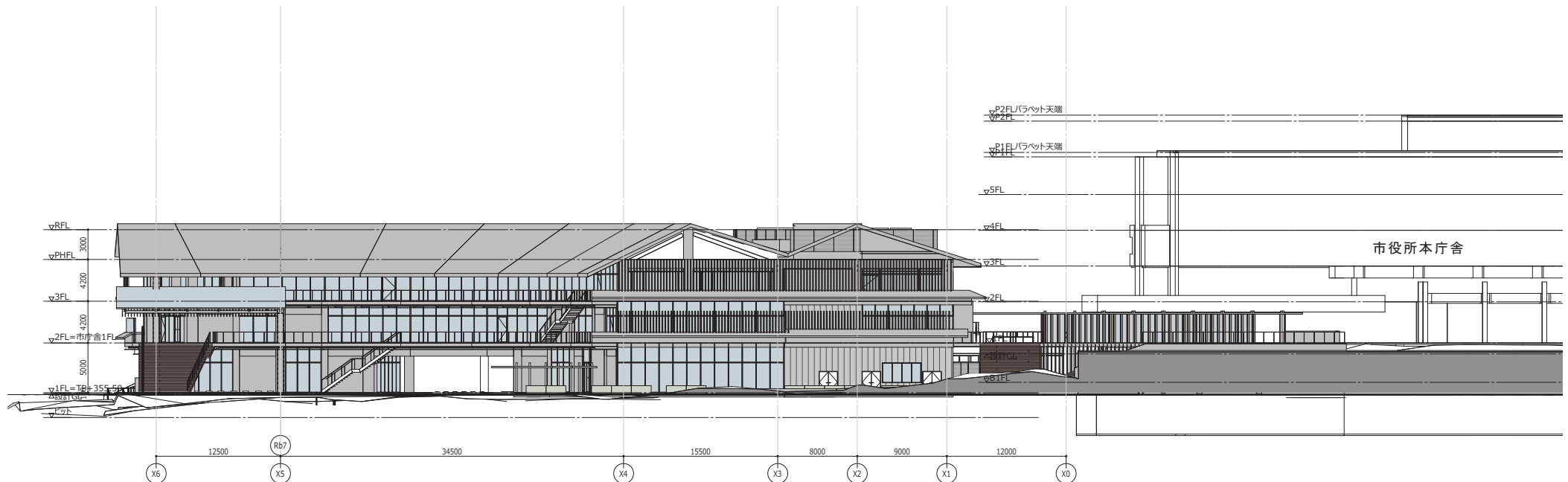
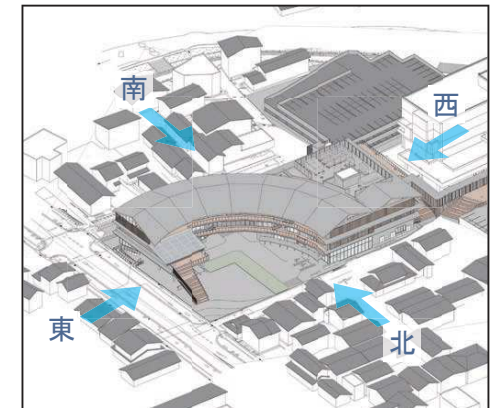
- ・南からの自然光をふんだんに取り入れられるよう、透明性の高い立面計画とします。
- ・2階には、白河市民の屋外活動の場所として大きなテラスを計画します。
- ・南側の道路から2階テラスや本庁舎に直接アクセスできるよう、立体駐車場に隣接する形でエレベーターと階段を設置します。

■東面：

- ・小峰通りの景観に調和するような立面計画とします。
- ・大きなテラスは小峰城や周辺を見渡せる、白河の新しい視点場として機能します。
- ・イベント時にも利用できるように、市民の広場に向かって大きな階段を計画します。

■西面：

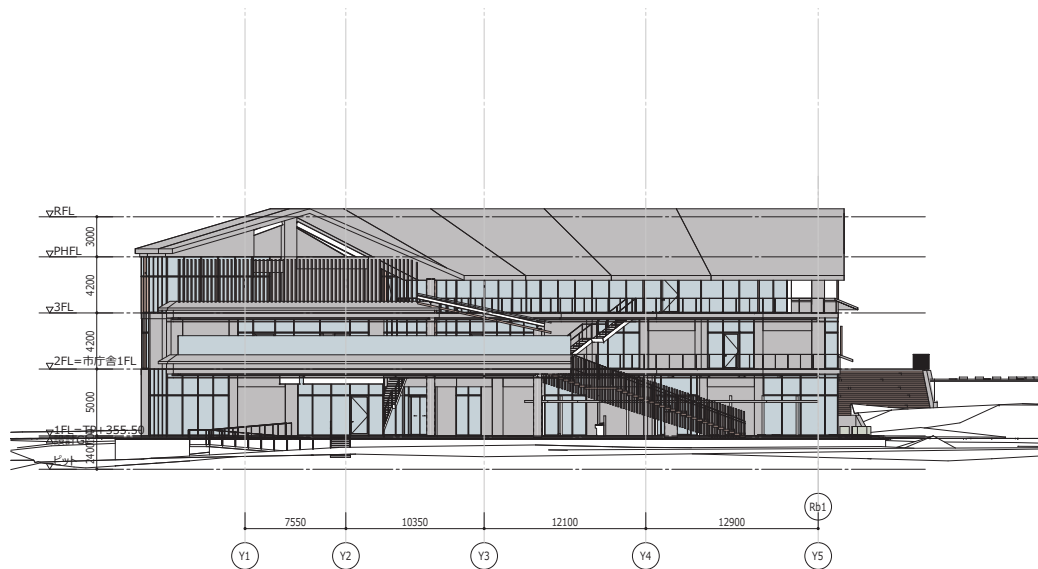
- ・本庁舎のデザインと調和した立面計画とします。
- ・屋上の設備機器が地上から見えないう、景観に配慮した目隠し壁を設置します。



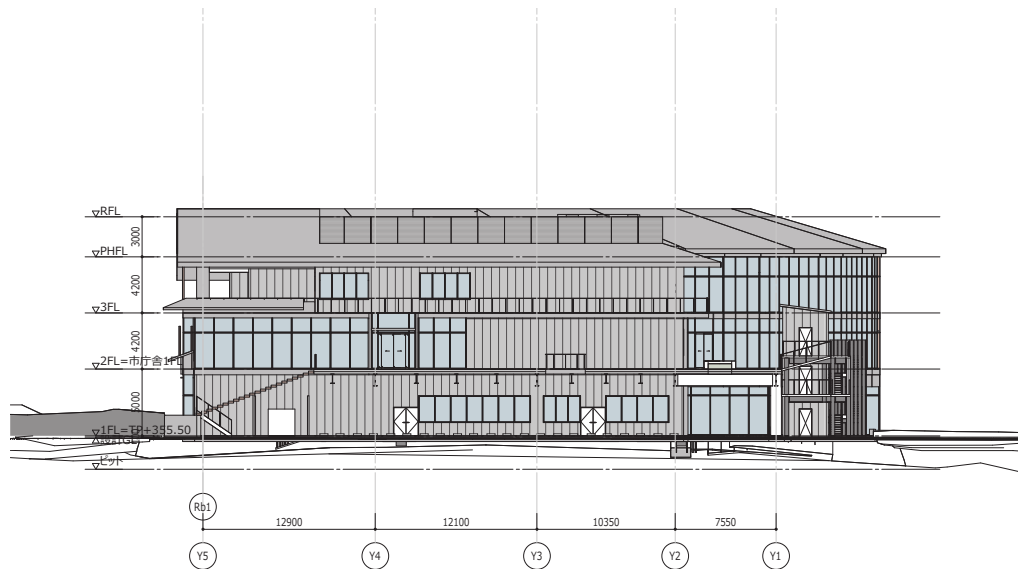
北立面図

立面計画

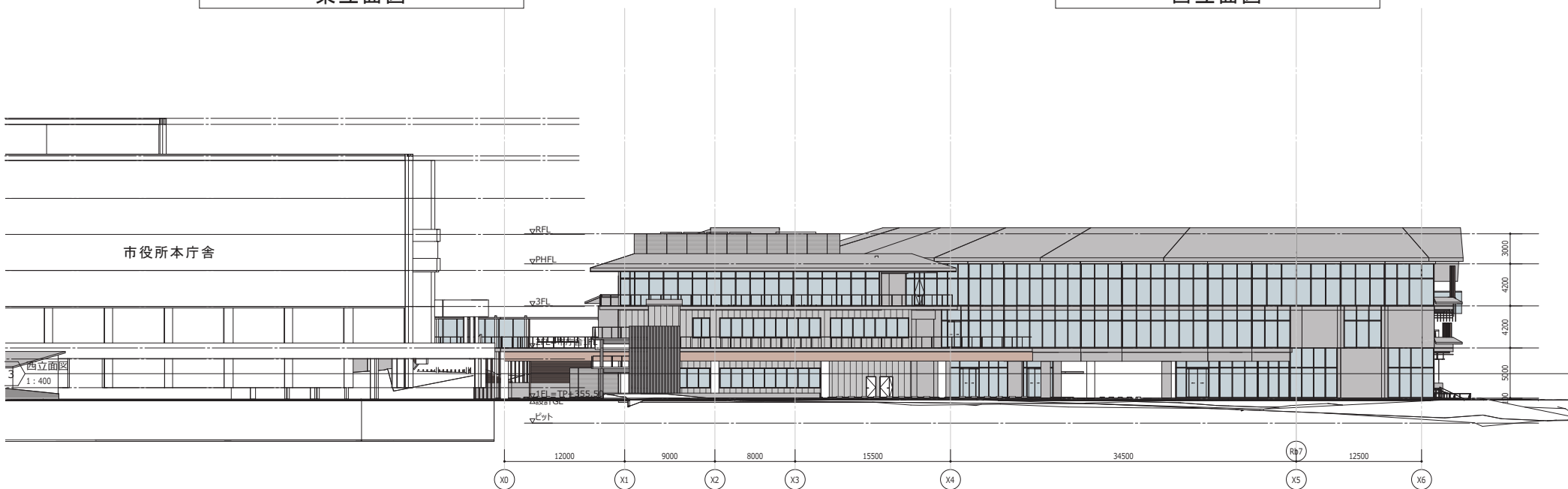
立面図 (S=1:400)



東立面図



西立面図



南立面図